



# 名工が築いた強固な石堤

## ⑥ 惣兵衛堤防

### 下伊那郡高森町

下伊那郡高森町の天竜川右岸。河川敷の草むらに、大きな石が積まれているのが見えた。すぐそばの案内看板が、1993年の親水護岸工事で河床から掘り出されたものだと言っていた。かつて大川除と呼んだ堤防の骨格になった巨石だった。

江戸時代、飯田藩はたび

## 伊那谷遺産 第2部

たび氾濫する天竜川に堤防を築いて水田開発し、米の増産を図って藩財政を安定させようとしていた。当時の下市田村にも堤防を築こうと計画し、主任技師に石工の中村惣兵衛を起用。1750年から工事に取り掛かったのだ。完成は2年後。巨石を乱れ積みした延長約150



メートル、高さ約4メートルの石堤だった。1961年の三六災害で決壊するまで200年以上にわたって農地を守った強固な石堤は、名工の功績

を讀え「惣兵衛川除」とも呼ばれていた。地元には「流がはね返り、直撃する下流対岸の村々から恨まれるほどだった」と聞いた。(文・倉田高志、絵・片桐美登)

毎週火曜日掲載



QRコードから  
事務所HPへ  
アクセス

平成26年2月25日掲載  
長野日報 / 1面